

返済不要・給付型奨学金のご案内

ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラーシップ・プログラム 2026【応募要項】

公益財団法人教育支援グローバル基金は、社会のために活躍する人材になるべく進学を目指す若者を応援する「ジャパン未来スカラーシップ・プログラム 2026」への応募を募ります。様々な事情で社会経済的に困難な状況にある若者を対象とし、経済的な支援だけでなく、人材育成プログラムへの参加機会の提供を通じて、他者に共感する力をはぐくみ、社会貢献に尽力する人材を輩出することを目的としています。仲間との対話や、各界で活躍するリーダーたちとの交流を通じ、視野を大きく広げ、社会に力を添える人材の輩出を狙う本プログラムに、ぜひご応募ください。

【主催】 公益財団法人教育支援グローバル基金

【プログラムの内容】

1. 奨学金支給：大学・短大・各種専修学校進学のための、年間 50 万円の返済不要・給付型奨学金を支給
2. 人材育成プログラム：国内外でのプログラムを通し、各界で活躍するリーダーとの対話や、困難を経験しながらも社会貢献を志す仲間との対話、社会課題について考える機会の提供を行う。

ビヨンドトゥモロージャパン未来スカラーシップ・プログラムは、人材育成プログラムと奨学金支給の両方から成る 1 年間の包括的なプログラムです（人材育成プログラムへの参加が不十分の場合は奨学金支給を停止します）。

—近年の人材育成プログラム実施実績—

- ・オンラインプログラム（年に 6～8 回程度開催）
- ・国内研修
 - － オリエンテーション・プログラム（毎年 3 月開催 3 泊 4 日・東京）
 - － サマープログラム（夏開催 3 泊 4 日・東京、北陸地方、広島など）
 - － ジャパン未来リーダーズサミット（秋開催 2 泊 3 日・東京）
- ・海外研修
 - 米国グローバル研修：2025 年 9 月 NY・ワシントン D.C. にて実施予定。

※各種人材育成プログラムの詳細は当財団のウェブサイトでご覧いただけます。

※プログラム参加に係る費用は主催者が負担します（遠方からの参加者は交通費を財団規程に基づいて支給）。

【応募資格】※別紙「よくあるご質問（FAQ）」もご覧ください。

下記条件 1～6 を全て満たすこと。

- 1 2026 年 3 月までに高校を卒業、または高等学校卒業程度認定試験に合格する予定であること。
- 2 2026 年 4 月より新たに大学・短大・各種専修学校に進学予定であること。
※学校教育法に基づいて設置された大学・短大・専修学校が対象となります
※進学先が通信教育課程の場合は対象外となります。
- ※5 年制の高専在籍者は、2026 年 4 月に 4 年生に進級する場合を対象とします。
- 3 下記の一つ以上に該当すること。
 - a 親が死亡している。
 - b ひとり親家庭である（母子家庭、父子家庭など）。
 - c 児童養護施設をはじめとした社会的養護を必要とする施設に暮らしている。
 - d 里親家庭に暮らしている。
 - e 生活保護受給世帯に暮らしている。
- 4 年間を通じて開催されるプログラムに参加する意志があり、プログラム参加に際し健康上の支障がないこと。
- 5 2026 年 3 月に開催するオリエンテーション・プログラムへの参加を確約できること。
- 6 オンラインプログラムに参加するための安定したインターネット環境を自身の責任で準備できること。

※最終合格者には、上記に該当することを証明する公的書類を提出いただきます。書類内容を確認の上、上記条件に合致することが認められない場合には、合格を取り消します。また、合格した場合でも、後日、申告内容に虚偽や事実と異なることが認められた場合には、プログラムから除外となる他、既に支給した奨学金の返金を求めることがあります。

最終合格者が提出を求められる書類（応募時点では提出の必要はありません）

1. 親が死亡している。	戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）
2. ひとり親家庭である（母子家庭、父子家庭など）。	戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）
3. 児童養護施設等の社会的養護施設に暮らしている。	施設長の発行する在籍証明書
4. 里親家庭に暮らしている。	里親委託証明書（児童委託証明書）
5. 生活保護受給世帯に暮らしている。	生活保護受給証明書

※「1. 親が死亡」のみ該当する方には、保護者が亡くなっている事実の記載がある戸籍全部事項証明書または除籍全部事項証明書を提出いただきます。

【応募の流れ】 選考は、以下のスケジュールで行います。

2025 年 7 月 21 日（月）	応募受付開始（Google form 受付開始 9:00～）
2025 年 10 月 5 日（日）	応募締切（郵送物必着、Google form での提出は 23:59 まで）
2025 年 10 月 31 日（金）以降	1 次選考合格者への 1 次合格通知・2 次選考面接案内送付 （合格者及び合格者の推薦状を記入した学校長宛てに通知します。 不合格者には通知をいたしません）
2025 年 12 月 7 日（日）	2 次選考 会場：東京
2025 年 12 月 22 日（月）以降	最終合格者発表（2 次選考受験者全員に可否を通知します）

※合格者は、2026 年 3 月下旬に開催されるオリエンテーション・プログラムを含め年間を通して数回開催される人材育成プログラムに参加することが条件となります。

※プログラム参加に係る費用は主催者が負担します（遠方からの参加者は交通費を財団規程に基づいて支給）。

【選考方法】

1 次選考：書類審査（課題作文を選考委員が書類審査）

2 次選考：東京にて 1 時間程度のグループ面接（遠方からの受験者には交通費補助を規程に基づき支給。）

※詳細は 1 次選考合格者に通知します。

【応募書類について】

1. 提出書類

(1) 応募用紙

(2) 課題作文

(3) 学校長からの推薦状（フォーマット自由。現在、高校に在籍していない者については、卒業校からの卒業証明書または、高等学校卒業程度認定試験合格証明書を代わりに提出のこと）

（Google form で提出の場合：(1)と(2)に関してはフォームに直接入力、(3)は郵送、FAX、または PDF データをメールのいずれかで提出。）

2. 課題作文について

以下の設問①～③について、記入する際の条件や注意点をよく読み、記入してください。

- 設問① あなたの人生の中で、最もつらかった体験はどのようなものでしたか。
また、その体験についてどのようにとらえていますか。
- 設問② あなたの人生の中で、最も勇気を必要とした「決意」「決断」はどのようなものでしたか。具体的にどのようなことを決め、行動したのか、その時に思ったことや感じたことを記してください。
- 設問③ あなたは将来、どのような道に進みたいですか。その夢の実現のために、ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラシップ・プログラムはどのように役立つと考えますか。

<記入する際の条件・注意点>

- ・ 800～1600 字以内であること（ワード、手書きいずれも可）
 - ・ 800～1600 字の中に、上記の設問①②③全てに対する回答を含めること（設問 1 つに対して 800～1600 字ではありません）。
 - ・ （郵送の場合）全てのページに、氏名、学校名、ページ番号をフッター（ページの下）に記載すること。
- また、ホチキスどめ、クリップどめしないこと。

3. 提出方法・締切

以下のアまたはイのいずれかの方法で提出してください。

ア	Google form を使用して提出（「応募者情報」、「課題作文」を直接入力、「学校長からの推薦状」は郵送、FAX、または PDF データをメールのいずれかで提出。） ・ Google form: 以下の URL もしくは、右記 QR コードからアクセスしてください。 https://x.gd/QOH2W ・ メール宛先: info@beyond-tomorrow.org ※メールで提出の場合、必ず応募者氏名をメール内に記載してください。 ・ FAX 宛先: 03-6745-9100
イ	郵送 別紙「応募用紙」、「課題作文」、「学校長からの推薦状」を送付してください。 郵送の場合の送付先は、以下のとおりです。（下記宛名を切り取って郵送先のラベルとしてご利用いただけます。）



〒150-8681

東京都渋谷区渋谷 1-12-13 渋谷郵便局留

公益財団法人教育支援グローバル基金

「ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2026 係」 行

※郵便局留のため、宅急便では受取ができません。必ず郵便でお送りください。

※応募期間中のみ開設している受付窓口です。受付期間を過ぎた郵送物は 10 日後に返送されます。

※遅配・不達等の郵便事故の責任は負いかねますのでご了承ください。

※局留めの場合は郵送物が紛失する可能性は非常に低いと思われませんが遅配等の郵便事故の責任は負いかねますので、早めの投函をお勧めします。

締切…2025 年 10 月 5 日（日）Google form、メール、FAX→23:59 までに提出、または渋谷郵便局留必着

※提出頂いた情報は、ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2025 の選考に使用される他、公益財団法人教育支援グローバル基金から、財団のプログラムに関するご案内、財団の趣旨に合致すると考えられる各種プログラムのご案内のために使用され、それ以外の目的での利用は致しません。

4. 課題作文作成のヒント

課題作文の文字数は 800～1600 字となっていますので、スマートフォンなどでグーグルフォームへの直接入力避け、PC 又はタブレットでワード等を使用し下書きをしてから、グーグルフォームへ入力（下書きを貼り付けなど）することをお勧めします。

ビヨンドトゥモローの学生たち

様々なバックグラウンドを持つ学生たちが日本全国から集い、自分の役割を探し続けています。



“一人じゃない、だから頑張れる”
磯田さん(仮名) 北海道内大学教育学部

父親の暴力により指定難病持ちの母との母子家庭となりました。引っ越しをして友達もいなく、頼れる・相談する人がいない中で母と妹を守れるのは自分しかいないと孤独を感じていた時にジャパン未来リーダーズサミットに参加しました。同じような経験をした仲間集まるからこそ、自分の境遇を全て話すことができ、深く共感してくれる味方ができ、仲間が社会を変えるリーダーとして活動している姿を見て自分も頑張ろうと鼓舞することができました。また、仲間に会いたい、切磋琢磨して頑張りたいと考えてジャパン未来スカラシップ・プログラムに応募。自分の経験を過去で終わらせるのではなく、当事者だからこそその視点に変えることが自分の強みであると考えようになりました。ビヨンドトゥモローの仲間は自分にとってかけがえのない存在になりました。



“人と違う自分を受け入れ、それを強みにできるようになりました”
戸塚さん(仮名) 東京都内大学政治経済学部

小学生の頃に母を亡くし、父とも離れ、祖母に育てられました。他人の家庭に触れるのが嫌で、自分の環境を恥ずかしく思っていました。ビヨンドトゥモローに参加し、「ビヨンドナイト」で仲間の語りを聞いたとき、それが単なる体験の共有ではなく、想いや気づきの共有だと気づきました。自分の過去も言葉にすることで、新たな発見があり、受け入れ、力に変えられると感じました。また、多様な背景を持つ仲間と意見を交わす中で、「違い」がぶつかる場面もありましたが、それは対立ではなく、傾聴し、掘り下げ、時に逸れながらも深く対話して意見が融合し、新たな想いに出会う経験でした。今では「人と違う自分」も受け入れ、強みだと感じています。将来は、教育現場に余裕を生み出し、学校が多様な学びを届けることで、体験格差が生まれないようにしたいです。



“将来は舞台俳優として社会課題に関する舞台をやりたい”
西田さん(仮名) 東京都内大学芸術学部

私は里親家庭で幼少期から育っており、似た境遇の同世代の方と関わる事がなく、境遇の事で悩み苦しんでいるのは自分だけだと思い、孤独感を感じていました。しかし、ビヨンドトゥモローでは似た境遇で育った仲間がいるという事を実感でき、皆も未来を向いて頑張っているのだから自分も未来を見て頑張らなきゃいけないと感じ、前を見ることが出来ました。対面プログラムでは、自分のアイデアが提言に活かされ、この境遇だからこそわかる気持ち、立てる視点があることに気づきました。将来は舞台俳優になり、自らの経験を活かせる舞台をすることが夢です。そしてそれによって、私たちの様な社会的養護出身者や似た境遇の者たちが特別視されない社会に少しでも近づける事が出来るようにしたいと思っています。



“同じような境遇にある人たちに、勇気を与えられる存在でありたい”
長田さん(仮名) 東京都内大学総合政策学部

私は高校1年生の時、両親の離婚と児童相談所での一時保護を経験し、その後は1年間の一人暮らしを余儀なくされました。生活の不安定さや誰にも頼れない孤独感、そしてストレスから不登校になりました。ビヨンドトゥモローでの対面プログラムや海外プログラムへの参加を通して、どこにいても、どんな事情を抱えていても、人は学び、挑戦することができると考えられるようになりました。私はこれからも学び続け、同じような境遇にある人たちに、勇気を与えられる存在でありたいです。

よくあるご質問（FAQ）

- Q 同封の「ジャパン未来リーダーズサミット 2025」（以下「サミット」）と「ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2026」の違いは何ですか。
- A 「サミット」は、当財団が行う人材育成プログラムの一環で、奨学生だけではなく、一般の高校生も対象にした1回完結のプログラムです。「ジャパン未来スカラシップ・プログラム」は、奨学金と1年間のプログラムに参加ができる奨学プログラムです。年間奨学生として採用されると、「サミット」を含め様々なプログラムへ参加できます。「ジャパン未来スカラシップ・プログラム」への応募を検討している人はぜひ、秋のサミットへ応募・参加し、当財団の目指しているリーダー像などに対して理解を深めてほしいと思います。
- Q 奨学金の支給は1年間のみなのですか。
- A 本プログラムは、1年間のプログラムです。2年目以降は奨学金の支給はありませんが、卒業生としてボランティア参加や、インターンシップ制度へ応募することができます。
- Q 他の奨学金を受給予定ですが、併用に際しての条件や制約はありますか。
- A 他の奨学金との併用について、当財団は条件や制約を設けていませんので、併用が可能です。
- Q 応募書類を送付する際は、学校でとりまとめる必要がありますか。
- A 応募者本人が個別に送っても、学校でとりまとめてもいずれでも構いません。学校の教職員の方の手違いによる書類不備や締切後の送付が過去に発生していますのでご注意ください。
- Q 保護者の署名は応募用紙に絶対に必要ですか。
- A 応募時点で応募者が未成年である場合、親権者、家庭裁判所に指定された未成年後見人、児童福祉法により一部権限を付与された者（都道府県知事より委託を受けた児童養護施設の施設長や里親など）、のいずれかの署名が必要です。
- Q 現在、高校に在籍していないのですが、応募できますか。
- A 応募できます。既卒者の場合、学校長からの推薦状の代わりに、卒業高等学校からの卒業証明書を提出してください。高等学校卒業程度認定試験合格者は、学校長からの推薦状の代わりに、高等学校卒業程度認定試験合格証明書を提出してください。

公益財団法人教育支援グローバル基金およびビヨンドトゥモローについて

公益財団法人教育支援グローバル基金は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン（地球市民）の輩出をめざす「ビヨンドトゥモロー」の運営を行っている非営利の財団法人です。「逆境は優れたリーダーを創る」を理念に、次世代を担う資質を持ちながらも、社会経済的に困難な状況にある若者たちを対象とした奨学金支給及び人材育成プログラムの開催を通し、広い視点、深い共感力をもって社会のことを考えることのできる人材輩出をめざしています。

理事	橋本 大二郎（代表理事）	元高知県知事
	小林 正忠	楽天グループ株式会社 常務執行役員 グループ・チーフ・カルチャー・オフィサー
	本庄 竜介	グリーンコア株式会社 代表取締役
	村瀬 悟	メイヤー・ブラウン法律事務所 弁護士
	平川 理恵	元広島県教育長

評議員	塩崎 恭久	一般財団法人勁草日本イニシアティブ代表理事
	宮城 治男	NPO 法人 ETIC 創業者
	小宮山 利恵子	スタディサブリ教育 A I 研究所所長 東京学芸大学大学院准教授

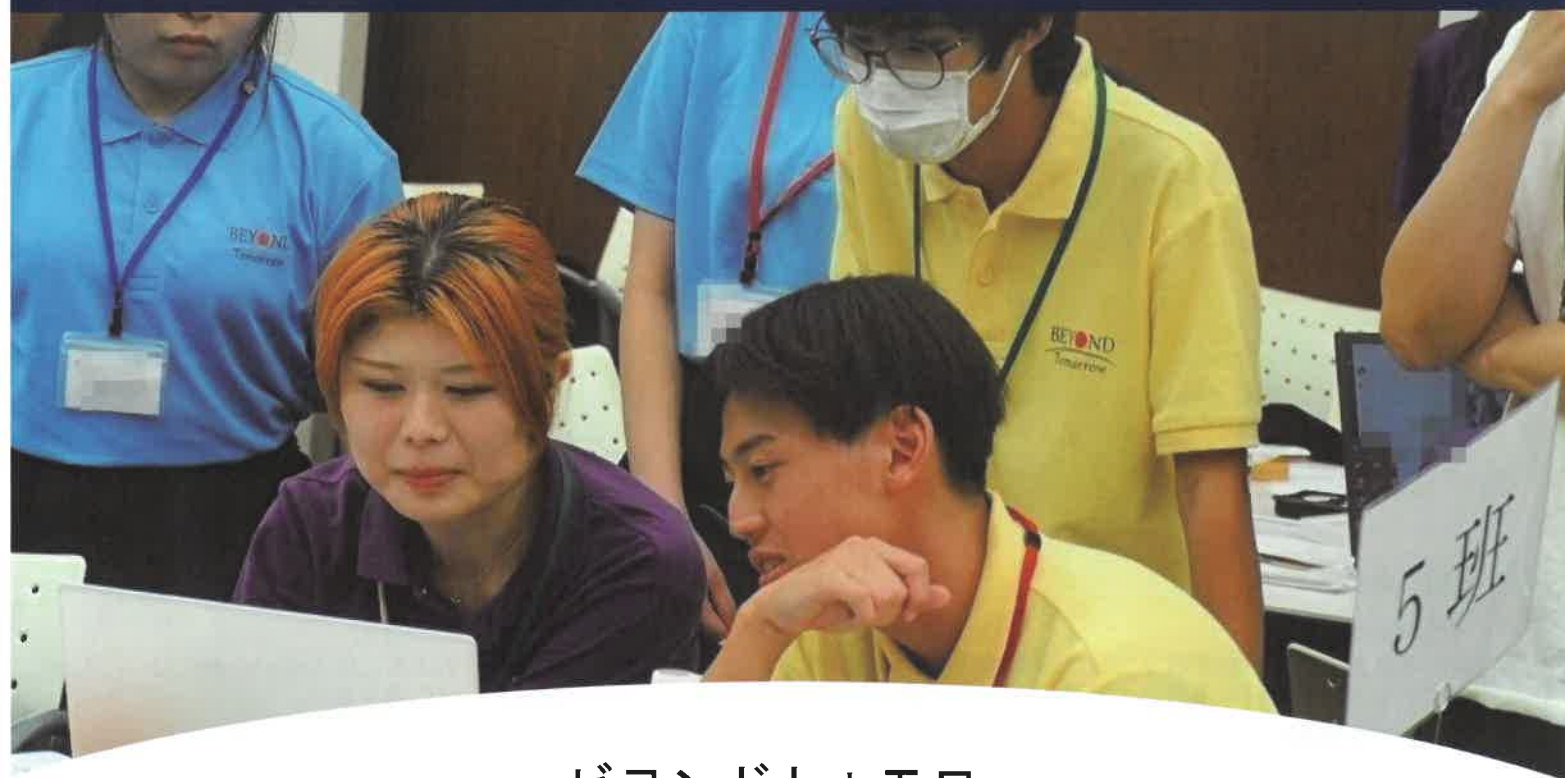
監事	上滝 賢二	元日本放送協会理事
----	-------	-----------

アドバイザー	竹中 平蔵	慶應義塾大学 名誉教授 元国務大臣
--------	-------	-------------------

【問い合わせ先】 公益財団法人教育支援グローバル基金
 電話：03-5453-8030 電子メール：info@beyond-tomorrow.org ファックス：03-6745-9100
 〒150-0046 東京都渋谷区松濤 1-26-18 園ビルディング 1F ※応募書類の送付先は左記ではありません。

逆境を力に。
仲間と描く私たちの未来。

BEYOND
Tomorrow



ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラーシップ・プログラム 【2026年度奨学生募集】

返済不要・給付型奨学金

内容

年間50万円の奨学金（返済不要・給付型奨学金）
年間を通じて国内外で開催される人材育成プログラムへの参加
（一部オンライン開催含む）

対象者

2026年度に大学・短大・各種専修学校に進学予定（現高校3年生、浪人生）で
下記の条件の一つ以上に該当する者。※詳細は応募要項をご覧ください。

- ①親が死亡している。
- ②ひとり親家庭に暮らしている（母子家庭、父子家庭など）。
- ③児童養護施設や里親家庭などの社会的養護施設に暮らしている。
- ④生活保護受給世帯に暮らしている。

応募方法

2026年10月5日（日）郵送必着、またはGoogle formを通して提出
（応募用紙は<https://beyond-tomorrow.org> からダウンロードできます）

選考方法

1次選考 書類選考
2次選考 面接 12月7日（日）
※遠方からの受験者には財団規程に基づき交通費を支給

ビヨンドトゥモローは、親との死別・離別を経験したり、児童養護施設に暮らしていたり、社会経済的に困難な状況にありながらも、人や社会に貢献する志を持つ若者を応援します。



小学生の頃に母を亡くし、父とも離れ、祖母に育てられました。他人の家庭に触れるのが嫌で、他人と違う環境にいる自分を強く意識し、恥ずかしく思っていました。ビヨンドトゥモローに参加し、「ビヨンドナイト」で仲間の語りを聞いたとき、単なる過去の体験の共有ではなく、想いと気づきの共有だと気づきました。自分の過去も言葉にすることで、過去を受け入れ、力に変えられることを実感しました。仲間と意見を交わす中で、ぶつかる場面も多くありましたが、相手と深く対話することで、意見が融合し、新たな答えにたどり着けました。今では「人と違う自分」を受け入れ、それを自分の強みにできるようになりました。

戸塚雄二（仮名） 都内大学政治経済学部



私は高校1年生の時、両親の離婚と児童相談所での一時保護を経験し、その後は1年間の一人暮らしを余儀なくされました。生活の不安定さや誰にも頼れない孤独感、そしてストレスから不登校になりました。ビヨンドでの対面プログラムや海外プログラムへの参加を通して、どこにいても、どんな事情を抱えていても、人は学び、挑戦することができると考えられるようになりました。私はこれからも学び続け、同じような境遇にある人たちに、勇気を与えられる存在でありたいです。

長田朱音（仮名） 都内大学総合政策学部

主な事業内容

【奨学金事業】

高校卒業後、進学を志す者を対象に選考試験を実施し、奨学金を支給してきました。学力のみに依らない、多様な視点から人物を評価する選考を実施しており、進学先は様々で、進学先の学問領域も多岐に渡ります。

【人材育成事業】

困難な体験をもつ学生がその経験を糧に、他者の心の痛みに寄り添い、人のため社会のために尽力できる人材になる過程を応援すべく、年間を通して人材育成プログラムを国内外で開催してきました。

＜これまでの人材育成プログラムの例＞

夏季グローバル研修（米国等／ジャパン未来リーダーズサミット（東京）／スピーカーセッション（オンライン開催）

逆境にある若者を応援するのは、困難を経験したからこそ、他者の心の痛みに共感し、社会のために行動する資質を有していると信じるから

